

令和元年度第2回特別支援学級担当教員研修<竹田>

令和元年11月12日(火)
竹田総合庁舎

<目的>

特別支援学級の学級経営や教育課程編成及び授業の工夫・改善に係る講義・発表・事例検討等を通して、特別支援学級の適切な経営や障がい特性に応じた支援の充実等に対する理解を深め、実践的指導力の向上を図る。

<内容>

1. 特別支援学級における授業の実際 <授業者>竹田市立菅生小学校 後藤 安津 教諭
2. 実践事例をもとにした授業改善に向けての検討
3. 講義「次年度の年間指導計画作成に向けて」 <講師>大分県教育センター 伊達 洋介 指導主事



算数の授業で用いた教具等の例



学習カゴ



数えとり



数字カード



言い方シート



学習の流れ

後藤教諭の算数の授業の様子を撮影したビデオを視聴し、児童の実態や取組についての説明を受け、参加者からも具体的な支援の方法について質問が出されました。

<算数の授業で見られた支援例>

- 45分の見通しをもたせるための「学習カード」
- 学習活動ごとにプリントや道具をカゴに整理
- 児童が興味のあるキャラクター等を利用した教具、学習活動
- 児童の頑張りや成果を認める「振り返り」 など

児童が安心して、笑顔で意欲的に学習している様子うかがえました。また、児童の実態をもとに、保護者の願いに寄り添って教育課程を編成することの重要性について再認識させられる研修となりました。

次年度の教育課程の編成に向け、「うまくいった指導・支援」と「うまくいかなかった指導・支援」を整理し、個別の教育支援計画や指導計画に反映させることが大切です。